

<b>科目名：歯科保健指導論Ⅱ</b> ( Oral Health Guidance Theory Ⅱ ) 履修年次/時期：2 年次 後期 授業形態：講義・演習 担当教員：関端麻美（実務経験有） 小堀陽子（実務経験有） 伊ヶ崎理佳（実務経験有）		必 2 単位
学修目的	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持し、増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケアの基本となる知識、技術および態度を修得する。 DP：2, 3 CP：2～6 に関連する 科目 No. S2C11H17	
到達目標	① 各ライフステージ別の一般的特徴と口腔の特徴および歯科保健行動を説明できる。 ② ライフステージまたは療養ステージに応じて、対象者の日常生活習慣行動と生活環境を把握できる。 ③ 対象者の日常生活自立度(ADL)について把握できる。 ④ 全身的な健康状態について把握できる。 ⑤ 歯・口腔の疾患および異常の観察と評価ができる。 ⑥ 適切な指標を用いて口腔の状況を診査し、評価できる。 ⑦ 対象者に対する適切な対話法ができる。 ⑧ 各ライフステージ別の口腔衛生指導ができる。 ⑨ 特別な配慮を要する、妊産婦・全身疾患者・障害児者・要介護者に対する口腔清掃の指導ができる。 ⑩ 多職種との連携について説明できる。 ⑪ 歯科衛生を実践できる能力を身につける。	
授業概要	本科目は1年次に学んだ歯科保健指導論を基礎に、ライフステージに沿った個人指導の基礎を学修する。各臨床科目の基礎知識をもとに、対象者に応じて効果的な歯科衛生介入を実践できる能力を修得する。	
評価方法	本試験 80% レポート提出、ルーブリック、実習参加度、実技など 20% の総合評価 試験に対するフィードバックは掲示で行う。	
予習・ 復習時間	【予習】時間 【復習】時間	
教科書	『最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会編，医歯薬出版	
参考書	『最新歯科衛生士教本 保健生態学 第3版』 全国歯科衛生士教育協議会編，医歯薬出版 『最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 『歯科衛生過程 HAND BOOK』 吉田直美、遠藤圭子、渡邊真理、鈴木純子 クインテッセンス出版 『よくわかる歯科衛生過程』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版	
問い合わせ 連絡先	関端 麻美 : 月～金 16:40～17:00 3号館2階研究室 sekibata@kdu.ac.jp 小堀 陽子 : 月～金 16:40～17:00 3号館2階研究室 kobori@kdu.ac.jp 伊ヶ崎 理佳 : 火～木 16:40～17:00 3号館2階研究室 ikazaki@kdu.ac.jp * 不在時はメールにて連絡をください。	